

事例: 巡回健診現場のDX化の取り組み

医療法人社団 せいおう会 鶯谷健診センター様



昭和24年から、「健康で豊かなくらしの、一生のパートナー」を理念に掲げ、健康診断をメインとした医療機関として、一般健康診断、人間ドックをはじめ、巡回健診、指導・相談業務などを展開、また各医療機関などとの連携も充実しており、企業および働く人の健康をトータルにサポートします。

健診業務のデジタル化において、導入当初は各スタッフのリテラシー格差が障害となった時期もありましたが、最近では習熟レベルの底上げをしたうえに、「もっとこんなシステムができると良いのでは」といった自発的な提案がスタッフから生まれる等、IT を活用しようとする風土が定着してきました。

■ Parallels RAS のユーザー数

- 240

■ お客様が Parallels RAS を選択した主な理由

巡回健診において、OCRおよび手入力が行われていることによる、以下の状況の改善を目的にRASを導入

- 帰社後、測定データの健診システムへの登録の負担
- 健診システムへの登録時の転記ミスの発生
- 検査項目の確認、各検査の待機状況、受診状況の報告は書面もしくは電話ベースで非効率

■ 配信されたアプリケーション、ソリューション

- タック総合健診システム

■ 導入効果

- 現場で全て対応、帰社後の登録などの業務がなくなった。
- 検査の進捗状況がリアルタイムに確認できるようになり、状況確認の必要がなくなった。
- システム上で申し込み情報に従った検査コースが表示されるため、必要な検査項目が簡単に確認できるようになった。
- 受診状況を基に、事業所のご担当者様への報告もスムーズに行えるようになった。